

NAIST バイオ修了生 (卒業生) 有志ブース@NAIST EXPO2024 報告

2024 年 11 月 16 日 (土) に NAIST EXPO が開催されました。

午前中は小雨が降るというコンディションでしたが、寒すぎることはなく、NAIST EXPO 全体では、それなりの人ではあったようです。

今回の修了生有志ブースは、イベントの一つとしてバイオ棟のメイン廊下で開催されていたフリーマーケットのさらに奥の部屋を割り当てられて、下記写真の通り勝手にエレベーターホールまでは出てきましたが、人通りは少なく若干寂しめになってしまったかなと思います。

それでも、何人かの方が立ち寄っていただき、個人的にも面白いお話ができました。雑談できた方は、現教員の岡村さん (河野研 5 期) を含むバイオ修了生の方が 7 名、物質修了生の方 1 名、現役 M1 学生 1 名、NAIST 出願を考えている大学 3 回生 1 名、地域の方 1 名でした。

未だ「参加することに、開催することに意義がある」的な規模から脱皮できていないバイオ修了生企画ですが、今後も可能な限り続けていきたいと思います。(2025 の NAIST EXPO は開催時期が 2 か月早まり、9/27(土)に開催です。皆さま、ぜひ NAIST EXPO へ!、そしてバイオ修了生有志ブースへお越しください!)



◆ バイオ修了生について

・ 10 期生 川市研 A さん

石田先生訪問と合わせて、修了生ブースにも立ちよってください、手土産でお菓子も持ってきてくださいました。来年の 20 周年イベントの案内は受け取っているとのこと。返事はまだしていないが、参加する予定。臨床検査ベンチャー企業お勤め。

・ 5 期生 ジェンブル 竹添さん

NAIST 全学の公式の同窓会総会、意見交換会、懇親会を経由して、その後の時間の合間を縫って、立ち寄ってくださいました。

福岡および千葉柏の葉を拠点に、受託サービス会社を経営されている。偶然にも、私が働いている研究室グループの成果を、自社の受託サービスとして技術導入されているという仕事上のご縁もあった。

更に更に偶然なのだが、竹添さん、上記の A さん、私と 3 人で、Oxford Nanopore 社のシーケンサー (以下 Nanopore と呼ぶ) について議論盛り上がる。竹添さんは、ロングリードである Nanopore の受託サービスの導入を検討している。A さんは受託検査として Nanopore を動かすのがメイン業務。そして私の現在のメインテーマは、Nanopore の一連の機器・技術・実験・解析の導入・技術開発であり、3 名とも Nanopore と実際的なつながりがあり、しかしそれぞれ異なる観点で Nanopore と関わっており、なおさら楽しく議論や情報交換ができた。

竹添さんからは、修了生ブースについて「終了後に、学園前など近くで飲み会もしますよ」というように事前告知をする形で企画したら? とアドバイスいただきました。数は少なくと

も、色々雑談したいという人はいると思うので、NAIST 訪問に企画をプラスするのが良い、とのことでした。そういう会を通じて、今後の学年の周年企画に興味を持ってくれる人を草の根的に増やしていく、ということもできるかもしれませんね。

・9期生 植物系出身者ご夫妻

大学近郊（奈良近郊？）にお住まいで、お子さんが情報研究領域に興味があるとのことで、大学へのホームカミングの意味も含めて NAIST EXPO に来られました。学生当時の昔話などをさせていただく。残念ながら、昨年の6～9期の20周年イベントには参加していないとのこと。しかし Palsyne で色々な案内は受け取っているとのことで、今後の企画には色々興味を持ってくださるかもしれないです。

◆現役生と出願考えている大学生

・M1 現役生

シロイヌナズナを材料に、概日リズムを研究しているとのこと。何度もブースの前を行ったり来たり(笑)、、、声を掛けたところ色々とお話をしてくれました。朴訥としていて、オタクっぽく没入する感じのタイプの方。「もし自分が楽天的な性格だと思うのなら、あまり目先や後のことを考えずに、ぜひドクターまで行って研究活動など楽しんでください」とアドバイス。

・NAIST 出願を考えている大学3回生

現在文系学部に通っているが、次に大学院で生物学を学びたいと思っている方。

高校時代に生物に興味があり、数学・化学・生物も楽しく勉強していたが、物理だけがどうしても好きになれず、物理を取らないと理系選択ができないというシステムだったそうで、文系の経営学部で進学。ただし、経営学には興味が湧かず、やっぱり生物学を勉強できないかと思っている。異なるバックグラウンドの人も入学できる可能性がある大学院として、NAIST を知り、今回訪問したとのこと。

基本的には、他の大学院と比べると、他分野の方の受け入れ意欲や、実績もある大学だと思うとお伝えした。現在の受験のシステムは、公式な受験相談ブースがあるのでそこに行くことを勧めた。いわゆる一般的な理系の素養はあり、可能なら実験や研究に従事する仕事をしていきたいという意欲もあるので、「ぜひ具体的に受験を検討してね!」と、いつも通り無責任に(笑)アドバイスしました。

現在は、生物学研究をテーマにしている YouTube などを見ながら楽しんでいるとのこと。「何を勉強したら良いのだろうか?」とのことだったので、まずは高校の生物学の教科書を再度読み直してみたらどうだろうか?とお伝えした(これ正しいかな?)。大学で細胞生物学や分子生物学専攻の方々は、分厚い教科書を読み通すことは必須と思うので、本来はそのようなレベルのテキストを読むことがベストかもしれません。しかし、それに比べるとレベルは落ちますが、独学であるならば高校生物学の教科書(今の教科書には遺伝暗号や制限酵素地図なども範囲に入っている)はとても良い勉強のエントリーだと思いました。その後に、さらに興味が湧けば、大学の教科書やブルーバックスなどで個別にさらに深掘りができるかな? 最終的には、この点についても、「大学院入試で何をどの程度求められるのか」を受験相談ブースで聞くことをお勧めしました。

年代は異なっても初対面でも、NAIST 修了生というつながりで、なぜかハードルが下がり、色々議論や意見交換ができるのは、修了生同士の集まりならではの、と思いました。

また、NAIST 現役学生や NAIST 受験を検討している人と話をして、勝手にではありますが、励ましたり、背中を押せたりするのは、修了生としてとても嬉しいことです。今回も規模は小さいですが、修了生有志ブースとして楽しい時間を過ごすことができました。2025年11月15日の1期生30周年イベントも、同様に更に密度の濃い、楽しい会になると思います。

(1期生 MY 2024年11月18日 記す)